

「ええとこやんか三重」県と市町の移住促進検討会議

(1) 取組目標

県と市町の連携や市町同士の横のつながりの強化を図り、全県的に移住者を受け入れる体制の整備を検討します。

(2) 検討メンバー

市 町		県
津市／政策課 ／美杉総合支所地域振興課	木曾岬町／総務政策課	◎地域連携部地域支援課
四日市市／政策推進課	東員町／政策課	南部地域活性化推進課
伊勢市／企画調整課	菰野町／企画情報課	
松阪市／地域づくり連携課	朝日町／企画情報課	
桑名市／政策経営課	川越町／企画情報課	
鈴鹿市／住宅政策課	多気町／企画調整課	
名張市／地域活力創生室	明和町／防災企画課	
尾鷲市／市長公室	大台町／企画課	
亀山市／企画政策室	玉城町／総合戦略課	
○鳥羽市／企画財政課	度会町／政策調整課	
熊野市／市長公室	大紀町／企画調整課	
いなべ市／都市整備課	南伊勢町／行政経営課	
志摩市／総合政策課	紀北町／企画課	
○伊賀市／地域づくり推進課	御浜町／企画課	
	紀宝町／企画調整課	

※「◎」は代表、「○」は副代表

(3) 現状および課題

日本の総人口が減少している中で、首都圏への人口流入は続いており、地方における状況はより厳しいものとなっています。

県内の市町において、既に移住促進のためのさまざまな取組が進められていますが、そうした取組をさらに進めていくために、県と市町の連携や市町同士の横のつながりの強化を図り、全県的に移住者を受け入れる体制の整備を進めていく必要があります。

(4) 開催実績

- 第1回 平成29年4月20日
- ① 代表・副代表の選任について
 - ② 三重県の移住施策について

にそれを移住希望者に伝えるかについてワークショップを行いました。

④ 第4回検討会議

- ・平成30(2018)年度に三重県が実施する事業や移住相談会、三重県移住・交流ポータルサイト「ええとこやんか三重」の利便性向上を図るための改修等について情報共有を図るとともに、各市町における平成29(2017)年度の実績状況や平成30(2018)年度の事業予定、空き家バンク運用などの取組、移住者が暮らし続けるための工夫点等、特徴的な取組や地域の受入体制の課題などについて意見交換を行い、実務のブラッシュアップを図りました。

⑤ 第5回検討会議

- ・株式会社ツナグムの藤本和志氏および特定非営利活動法人テダスの田畑昇悟事務局長を講師に迎え、民間団体と自治体が協働して行う移住支援の事例等についての講義の後、移住者の受入体制のレベルアップに向けた取組等についてワークショップ等で議論しました。

(6) 取組成果

- ・平成28(2016)年度から本検討会議を設置し情報共有や議論等を行ってきたところですが、各市町において、相談窓口の設置(平成27(2015)年度末18市町→平成29(2017)年度末26市町)や空き家バンクの設置(平成27(2015)年度末17市町→平成29(2017)年度末21市町)など移住者の受入体制の整備が進んできています。
- ・少し離れた地域にある市町が共催して移住セミナーを実施するなど、近隣地域を超えた市町同士の連携も進んできています。

(7) 今後の方針

移住を希望されている方は、就労情報へのニーズが高く、生活環境や働く人の様子、余暇の過ごし方など、その地域の「暮らし方」を知りたいとのニーズを持っています。

一人でも多くの方に三重県を選んでいただくためには、こうした移住希望者のニーズをふまえ、地域の小規模事業者や伝統産業の承継(担い手)など、多様な就労情報の掘り起こしや、ワークもライフも充実した三重での「暮らし方」の発信について、県と市町が連携し、取り組んでいくことが必要です。

そのため、平成30(2018)年度も当検討会議を設置し、県と市町が情報を共有しながら、効果的な手法について検討していきます。

(8) 取組に対する自己評価

目標に対する取組成果がおおむね発揮されました。

(判断理由等)

移住相談窓口の設置や空き家バンク制度を運用する市町が増加するなど、移住者の受入体制の整備が進むとともに、一部の市町において、市町同士の連携が図られ、共催して移住セミナーを実施するなど、一定の成果がありました。